

専門家と連携した防災出前授業

講師	山口大学大学院理工学研究科 准教授 鈴木素之先生
実施校	萩市立育英小学校 5・6年生(42人)
日時	平成25年7月12日(金) 10時30分～12時15分

1. 大雨で起こる土砂災害と避難の仕方

○平成21年7月21日豪雨災害

防府市・山口市で、局所的な土石流や土砂崩れが起こり、甚大な被害が発生しました。



☆大雨により道路に水が流れ出したら、その場所を通ってはいけません。川のようになって、歩けなくなり流されてしまいます。

☆土砂災害から身を守るためには、早めに避難をしましょう。夜間など避難に危険が伴う場合は、家の2階や山側でない方へ避難しましょう。

Q: 津波の早さは?

A: 海の深いところほど速く、陸に近づくにつれて遅くなります。一方、津波の高さは、海の深いところほど低く、陸に近づくにつれて高くなります。

2. 地震・津波災害と対策

地震は、地殻(プレート)が押し合い急激に動き発生します。津波は、海底でプレートが跳ね上がって発生します。

☆家具などは倒れないように、金具や突っ張り棒で壁に固定しましょう。

☆緊急地震速報を活用しましょう。

☆地震のときには、あわてないで行動しましょう。

☆津波のときには、できるだけ高いところに逃げましょう。津波は何度も繰り返し来るので、安心してはいけません。津波は日本海側でも発生するので、注意が必要です。

4. 実験

〈実験1〉 **地盤の液状化現象**

水を入れた水槽に砂を入れ、余分な水を抜き取り、地盤のモデルを作ります。砂の上に模型を並べ水槽を振動させると、水があふれ出し模型が次々と倒れました。



〈実験2〉 **津波が発生する仕組み**

水を入れた水槽の中で、プレートに見立てたブリキ板をハンドルを回して跳ね上げると、水面が盛り上がり津波ができました。



5. まとめ

自然災害から身を守るためには、

- ① 自然災害を知る
- ② 避難場所・避難の仕方を知る
- ③ みんなで助け合う

ことが大切です。

3. 地震Q & A

Q: マグニチュードとは?

A: 地震の大きさです。

Q: 震度とは?

A: 各地点での揺れの大きさです。

Q: これから起こると想定される、一番心配な地震は何ですか?

A: 南海トラフで発生する地震です。山口県でも震度5～6強の地震が想定されます。



6. 今日の授業の感想・気づき

◇ 自然災害の仕組みや怖さがよく分かりました。

◇ 実験がとても楽しかったです。

◇ 災害からどのようにして自分の身を守ったらいいか、よく分かりました。

◇ 自然災害についてよく知って避難することが大切だと思いました。

